

卷之三

卷之三

道で被等の感情を醸成するの方法を採りてば大工場其他多數の労働者を使役する處には折々借貸を招て歎きを聴聞せしめ當時に糧食を供給して其勢を憲し附屬の學校を設けて體育技術の初步を授け病院を設けて醫藥を施し歌舞音曲花見遊山等の娛樂にも近づくの便を得せしむるなき専ら結合を以て接するに於ては其間目から春色を醸して觀風景なる顛も隨て容易に盛すると能はざる可し今日にても世間の工場中には此類の方法を施して効能の見る可きものあらずと云ふ一日にても水く實業の無端風波を評らんと我輩の切に望む所なり

るに内に倫敦又はパリに斯る抗議のある由を示すものなく英國及び佛國は千八百四十三年に於て互に布哇を合併し若しくは之を保護國とする事なからべしとの約を結めたるには相違なしも未だ曾て他國の之を爲すを禁する旨を約したる事あらず或は互に布哇を獨立國と認む旨を約したるものなれば自然他國の領有に歸するを許さずとの意なりとするものあらんか既に其獨立を認めたる以上は其國が他日に至りて自ら適當と認まる手段として今回の如き條約を結ぶに至るも是は外國政府の妨害するふと能はざる所なるべし殊に其以前に於て獨立國として其動作の自由を承認したる此兩國に於て七年故に英國及び佛國の眞意は既に明白なり日本との抗議に至りては更に實量なしと云ふべし其主張する根據は合併の競争行の日布條約廢棄なるを不平とす

るに過ぎず然れども是は既に先例ありて佛國はマダガスガルを併せ同時に同締政府と諸外國間の條約を廢棄したるに諸外國の容易く承認する所となれり此一例によると抗議と匡正する余地ある可シ故に日本はまことに

けたる損害を要求し得べきとばつは則ち是れあらん左れ
せも本條約の進行ば之が爲めに害する可きに非ずと云
へり

員 桑 港 クロニクルが去月十六日米百合併條約調印の當日華盛頓府より接手したる電報に依れば同條約は午前に調印され午後に上院に出で今夜を以て先づ

本會期（臨時）中は預りと決せんみど是れ第一回米布会
併締約の懸念なるべしとわりてホワイト氏（カリフォルニア
州選出モクラット黨）は本夏季中に通過の望め
じ我確までには一年を要すべしと云ひバーチンス氏

ハカリフオーニヤの聲出レバブリカン^國も亦直に院體に
附さるせしとは思はれど長時日の審議を要するならん
と云へるよし蓋しベーキンス氏はカリフオーニヤの声
望に従ふ爲め此意見を唱へるも愈々其時に至らばレバ

アリカンカンの意識に従ひて合併論を擧するに至らん而してレバアリカン多數の志望は最早や疑ふべくもあリアリカンはブケルス民以布桂卿として其富良秀を表明せしむよ皮等は合併を望むるやしと云ひ下を

議員ヒルダーン氏（カリフォーニヤ選出レバブリカン黨）も合併には反対なりと云ひしとなり

開は概ね十七日の紙上に社説として之を論じたるが其重なるものと舉れば倫敦にありてタイムズ紙英國政府は實に其歷史上未嘗有の政策を取れり是よりして米

國比外交政策に於て以前の如くモントリオール主導に因るふと能はざらん在れば米國は今後殖民主義を執るに至る。且つ大統領ヤングレーフは今回の場合全く例外なりと稱せんとするに勉むと雖も今や國內には例

外と謀むるを欲せざる勢力甚だ強しと云ひ、スクランブルは布陸諸島にして遂に愈々米國政府の治下に置かるゝに至らば同國民は以前にも増して好都合と同幅に得るに至らん是を以て米國政府の威と艦隊を新設して

其殖民地を保護するの必要を見るに至るは、實に、
あらずと述べ、テングラフは之が爲めに政治上何等の
葛藤を生ぜざるべしモンロー主義に依りて合併を行